

特別展「華麗なる日本の輸出工芸 ～世界を驚かせた精美の技～」

2011年4月29日（金・祝）～7月3日（日）

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）で開催



真葛焼獅子図花瓶

明治以降、輸出用に作られた日本の装飾工芸品の美と技を約200点の作品で紹介

たばこと塩の博物館（東京・渋谷公園通り）では、2011年4月29日（金・祝）から7月3日（日）まで、特別展「華麗なる日本の輸出工芸 ～世界を驚かせた精美の技～」を開催します。

明治維新を迎えた日本は外貨獲得の手段の一つとして、さまざまな工芸品を海外に輸出しました。代表的なものとしては、象牙や貝を素材として彫刻、象嵌した『芝山細工』と呼ばれる工芸品や、色や形の異なる木片を貼り込んで作られた『寄木細工』をはじめとする木工芸、有田焼や薩摩焼をはじめ、横浜焼と称された『真葛焼（まக்குやき）』などの陶磁器、駿河・会津などの漆工芸があります。

輸出を目的に作られたこれらの工芸品は、横浜港を中心に、明治から昭和初期にかけて欧米諸国に向けて大量に輸出されましたが、とくに明治時代の初期から中期にかけて輸出された精巧で優美な装飾工芸品の数々は、ジャポニズムという文化的流行もあって、各国で大変な人気を呼びました。

本展示では、日本輸出工芸研究会会長である金子皓彦氏が数十年にわたり、国内外で収集した輸出工芸品の中から、とくに優れた作品約200点を展示します。輸出工芸品ときいて一般的にイメージする有田焼や薩摩焼などの陶磁器だけでなく、現在では技術が廃絶し、目にする機会の少ない装飾工芸品もご紹介します。改めて日本の職人の技、当時海を渡った優れた工芸品をご覧いただける機会となると思います。日本の工芸技術の粋と精緻な意匠の世界をお楽しみください。

〈展示関連の催し〉 展示関連講演会・落語会、展示のみどころ解説など、多数予定しています（詳細は別紙参照）

特別展「華麗なる日本の輸出工芸 ～世界を驚かせた精美の技～」開催概要

名 称 華麗なる日本の輸出工芸 ～世界を驚かせた精美の技～
（カレイナルニホンノユシュツコウゲイ セカイヲオドロカセタセイビノワザ）

会 期 2011年4月29日（金・祝）～7月3日（日）

会 場 たばこと塩の博物館 4階特別展示室

開館時間 10時～18時（入館は17時30分まで）

※諸事情により開館時間等を変更する場合がございます。

休館日 月曜日

住 所 東京都渋谷区神南 1-16-8（渋谷駅から徒歩10分。公園通り）

入館料 大人・大学生 100円（50円） 小・中・高校生 50円（20円）

※（ ）内は20名以上の団体料金 ※満70歳以上は入館料無料（要証明書）



麦わら細工シガー＆シガレットケース

お問い合わせ先：たばこと塩の博物館 広報担当：褰地（ほろち）由美子

E-mail: horochi@tsmuseum.jp

〒150-0041 東京都渋谷区神南 1-16-8

TEL: (03) 3476-2041 FAX: (03) 3476-5692

<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/WelcomeJ.html>

ご質問、画像データのご希望などございましたら、お気軽にご連絡ください。

【展示関連イベント〈講演会・落語会・展示みどころ解説〉】

※いずれも当日先着順で整理券を配布します。

〈講演会〉

5月29日(日)「海外へ輸出された日本のやきもの 〜明治期を中心に〜」

佐藤一信(愛知県陶磁資料館学芸員)

6月5日(日)「骨董市はおもしろい」

金子皓彦(日本輸出工芸研究会会長)、竹日忠芳(古美術商)

6月12日(日)「明治の輸出装飾工芸」

加藤寛(鶴見大学教授)

6月19日(日)「芝山細工と横浜芝山漆器」

宮崎輝生(芝山細工作家)、鈴木明子(芝山細工研究家)

〈たばこにちなむ落語会〉

5月28日(土)

口演：桂歌助 講演：新藤茂(浮世絵研究家)

〈展示のみどころ 解説〉

会期中、毎週土曜日(ただし、5月28日は除く)の14時から1階視聴覚ホールにて、金子皓彦(日本輸出工芸研究会会長)による展示解説(約50分)を行います。

- 展示関連イベントは、いずれも14時から1階視聴覚ホールで開催。
参加費無料(ただし入館料は必要です)。
- 定員は、先着80名(いずれも当日開館時より整理券を1名様につき1枚配布します)

展示作品のご紹介



←1.芝山細工桜に雉図衝立
明治時代
W155.0×H167.0 cm



2.芝山細工飾棚→
明治時代
W123.5×D37.0×H204.0 cm



←3.寄木細工ライティング・ビューロー
明治時代
W147.0×D95.0×H166.0 cm



4.磁胎蒔絵獅子図花瓶（一対）→
江戸時代末期～明治時代
胴径 20.8×H55.2 cm



↑5.九谷焼美女喫煙図コーヒーセット
明治～大正時代
〔トレーの寸法〕 W36.0×H36.3 cm



↑6.横浜絵付薩摩焼人物図大花瓶
明治時代
胴径 39.5×H91.0 cm

↓7.墨田焼桜下美人図偏壺
明治時代
W27.0×D10.0×H34.0 cm



画像データの用意がございます。ご掲載いただけるようでしたら、画像の番号を広報担当までご連絡いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

広報担当：裊地（ほろち） 03-3476-2041 e-mail : horochi@tsmuseum.jp